

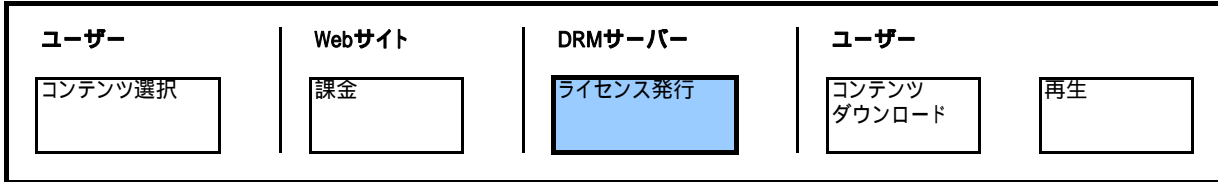
2. 事前ライセンス発行方式を用いた利用イメージ

コンテンツの再生(ダウンロード)前に課金とライセンス発行を行います。

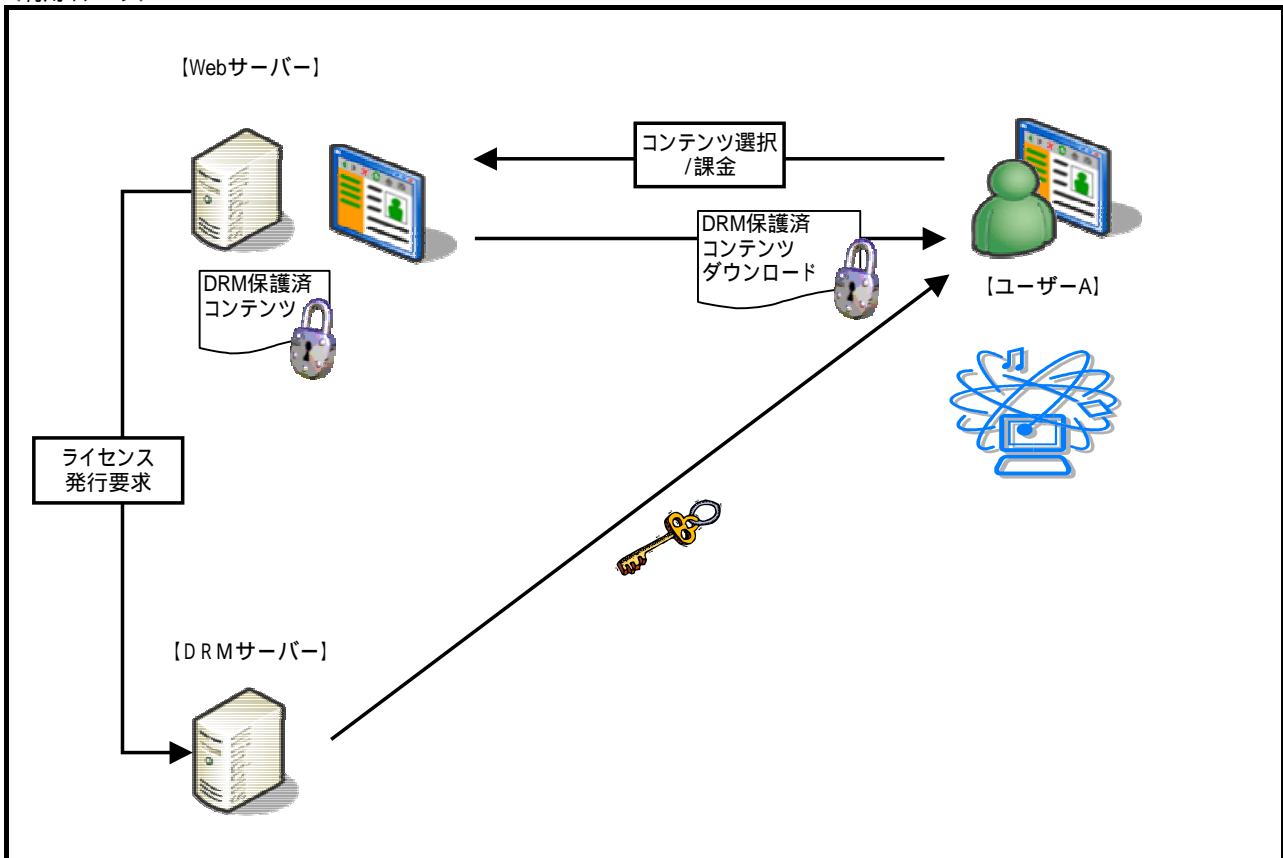
メリット : ダウンロードするコンテンツが複数存在する場合、一括して各コンテンツの課金及びライセンス発行が可能となります。また、課金が行われないユーザーに対しては、ライセンス発行とコンテンツのダウンロードが行われません。

デメリット : ライセンスの再発行、コンテンツの再ダウンロードなど、Webサイト側で購入履歴を基にユーザーに対しての事後サポートが必要となります。

(処理フロー)



(利用イメージ)



【フロー詳細】

Webサイトは、DRM保護されたコンテンツを公開します。
 ユーザーはコンテンツを選択し、購入手続きを行います。
 課金処理が行われた事を確認した後、ライセンス発行要求をDRMサーバーに対して行います。
 Webサイトからのライセンス発行要求に対して、コンテンツ毎のライセンスを生成しユーザーに対して発行します。
 ライセンスの発行が完了した後、ユーザーはコンテンツのダウンロードを行います。
 コンテンツの再生を行います。